

2023年10月

九経連会員 各位

(一社)九州経済連合会

「水産品に対する応援消費」へのご協力のお願い

～ 九州の美味いを、明日へつなごう ～

先般、8月24日のALPS処理水の放出開始を受け、中国・香港等で「原産地が日本である水産物」の全面的、或いは一部自治体を対象とした輸入停止措置がとられています。

九州からも、ブリや真鯛など多くの水産物が当該地域へ輸出されており、水産業は深刻な事態に直面しております。海外への販路を失い、在庫が滞留することで産地価格の下落を招き、水産従事者の経営はもとより、流通・加工業などをはじめとする地域経済への重大な影響が生じています。

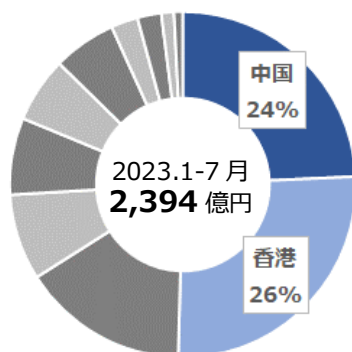
政府による事態の早期解決を期待するとともに、本会としましても、アジア各国地域における新たな輸出先・現地資本スーパーへの販路開拓等、「九州の食輸出協議会」を通じ、輸出の強化に引き続き取り組んで参ります。

会員の皆様におかれましては、大きな打撃を受けている水産業を支援するため、**九州・日本が世界に誇る水産品への応援消費として、社員食堂や社内外の各種会合等において積極的に水産品を活用**していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

<参考データ>

【全国】水産物輸出額

中国、香港向けで
水産物輸出の**5割**を占める



(出所) 農林水産省輸出・国際局資料

【九州】漁業産出額：全国の**26%**

2022年輸出額**403億円** (全国の10%)
主な輸出品目：ぶり、かんばち、真鯛、アジ、鯖等

長崎県	2022年度水産物輸出71億円。中国向けは高級魚が多く、金額ベースで3～4割。
鹿児島県	2022年度水産物輸出、中国6.7億円(養殖ブリ、ヒラマサなど)、香港1.6億円。
沖縄県	香港やマカオへの魚介類の出荷や商談がストップ。中国からの渡航キャンセルのほか、観光客向け市場での売上げが減少。
地場商社	香港で「日本産」そのものへのネガティブなイメージが広がりつつあり、今年度、香港向け売上が6～7割ダウン。

(出所) 各県HP、個別ヒアリング等を基に事務局にて作成